



Press Information

VPR16-067

2016年10月17日(月)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

オジェ選手が「ラリー・スペイン」を制し、WRC4 連覇を達成

- セバスチャン オジェ選手が優勝、2016年 WRC チャンピオンの座に
- フォルクスワーゲン・モータースポーツもマニュファクチャラーズ・タイトルに王手



2016年世界ラリー選手権(WRC)第11戦「ラリー・スペイン」が、10月13日～16日にバルセロナ南のリゾート、サロウを中心に開催されました。

フォルクスワーゲン・モータースポーツのセバスチャン オジェ選手は、金曜日に首位に立つと、その後は危なげない走りでこのイベントを制して、今季5勝目をマークするとともに、4年連続4度目のWRCタイトルを手中に収めました。アンドレアス ミケルセン選手は、オジェ選手の4連覇を阻むタイトル獲得のチャンスがあったものの、リタイアを喫してそのチャンスを失いました。ヤリーマティ ラトバラ選手は、アクシデント後も競技を続けて14位で完走しました。

ポロ R WRC は、今回のラリーで節目となる WRC 通算 50 戦目を迎えます。同時に、オジェ選手が 3 位以内でフィニッシュし、パワーステージ(最終スペシャルステージ。トップ 3 にはボーナスポイントが与えられる)で 1 ポイントを獲得すれば 4 連覇が決定。フォルクスワーゲン・モータースポーツは、ヒュンダイよりも 20 ポイント以上の得点を積み重ねれば、マニュファクチャラーズ・タイトルも決定します。

「ラリー・スペイン」は、今季唯一のミックス・サーフェス(舗装路と非舗装路の混在)ラリーであり、チームは双方の路面に対応しなければなりません。木曜夕刻の第 1 スペシャルステージ(SS:競技区間)は、モンジュイクの丘で開催されます。金曜日は 2 カ所の SS がミックス・サーフェス、それ以外はグラベル(非舗装路)です。土曜と日曜はオール・ターマック(舗装路)。ラリー総走行距離は 1,430.58km、19 カ所の SS 距離は 340.32km です。

SS1 は、時折大雨が降るコンディションでしたが、熱心なファンが 3.2km のルート脇に詰めかけ、「ラリー・スペイン」特有の喧噪に包まれました。オジェ選手が 3 位、ミケルセン選手が 8 位、ラトバラ選手が 15 位で明日からの本格的な戦いに挑みます。

金曜日のデイ 1 も雨。ルートは泥濘路と化し、非常に滑りやすい状況になりました。オジェ選手とミケルセン選手は着実に走行、地元開催に奮起する首位ダニ ソルド選手(ヒュンダイ)とそれぞれ 17.0 秒、35.1 秒差の 2 位、3 位でグラベル区間を終えました。一方、ラトバラ選手は 3 番手走行中の SS5 でラインを外し、サスペンションにダメージを受けました。同選手は、ラリー 2 ルール(未完走の SS を

ペナルティタイムに換算し、翌日以降の競技復帰を認めるルール)により、翌日も出走します。

オール・ターマックのデイ 2、オジェ選手は、ソルド選手を逆転、5.8 秒差ながら首位に立ちました。オジェ選手のライバル、ミケルセン選手は、SS12 の右コーナーでバリアにヒットして横転、修復不能なダメージを負ってしまいました。ミケルセン選手のタイトル獲得の可能性が消滅する一方で、オジェ選手は明日のパワーステージで 1 ポイントを獲れば 4 年連続のタイトルが決定することになりました。

オジェ選手は最終デイ 3 も気を緩めることなく、2 位以下との差を 15 秒 6 に拡げてフィニッシュラングに登壇しました。最終パワーステージでも、ラトバラ選手に次ぐ 2 位を獲得してタイトルを決めました。なお、ポロ R WRC はこれまで 50 回のパワーステージに挑み、うち 39 回を制したことになります。

第 12 戦の「ウェールズ・ラリーGB」は、10 月 27 日～30 日にディーサイドを中心に開催されます。

[終了後のコメント]

■ フォルクスワーゲン モータースポーツ ディレクター: スヴェン スミーツ

「4 度目のタイトル獲得、しかもそれを勝利で飾るとは！セバスチャンだけでなく、フォルクスワーゲン・チームにとっても素晴らしい日です。次戦のラリーGBには、マニファクチャラー部門 4 連覇がかかっています。」

■ カー#1: セバスチャン オジェ(フランス) 最終結果: 優勝(2016 年タイトル確定)

「今の気持ちをどう表現すれば良いのかわかりません。とにかく素晴らしい気分です、フォルクスワーゲン・チームの献身的なサポートがなければタイトル獲得は不可能でした。改めて感謝しています。」

■ カー#2: ヤリ-マティ ラトバラ(フィンランド) 最終結果: 14 位

「セバスチャン、おめでとう！フォルクスワーゲン・モータースポーツの努力の賜物です。マニファクチャラーズ・タイトルも確定させたいですね。」

■ カー#9: アンドレアス ミケルセン(ノルウェー) 最終結果: リタイア

「セバスチャン、おめでとう！今後の僕の目標は、ランキング 2 位を確定させることです。残り 2 戦もベストを尽くします。」

■ FIA 世界ラリー選手権 第 11 戦ラリー・スペイン最終結果

1. セバスチャン オジェ/ジュリアン イングラシア(フォルクスワーゲン)	3 時間 13 分 03 秒 6
2. ダニ ソルド/マルク マルティ(ヒュンダイ)	+15 秒 6
3. ティエリー ヌーヴィル/ニコラス ジルスル(ヒュンダイ)	+1 分 15 秒 0

■ FIA 世界ラリー選手権 マニファクチャラーズ選手権ランキング(第 11 戦終了時点)

1. フォルクスワーゲン・モータースポーツ	322
2. ヒュンダイ・モータースポーツ	260
3. M-スポーツ	144
4. フォルクスワーゲン・モータースポーツ II	136

■ FIA 世界ラリー選手権 ドライバーズ選手権ランキング(第 11 戦終了時点)

1. セバスチャン オジェ(フォルクスワーゲン)	222
2. アンドレアス ミケルセン(フォルクスワーゲン)	127
3. ティエリー ヌーヴィル(ヒュンダイ)	127
6. ヤリ-マティ ラトバラ(フォルクスワーゲン)	104

* 結果はすべて暫定。